富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山市科学博物館展示室の立山下ノ小平産スギ株の蘚苔類

著者	坂井 奈緒子
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	33
ページ	97-98
発行年	2010-03-15
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=915

富山市科学博物館研究報告第33号，pp.97-98；(2010)

短　報

富山市科学博物館展示室の立山下ノ小平産スギ株の蘚苔類*

坂井　奈緒子
富山市科学博物館
939-8084富山市西中野町1-8-31

Bryophytes found on the stump of Japanese cedar of Tateyama Shimonokodaira, Toyama

Naoko Sakai
Toyama Science Museum
1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

富山市科学博物館の2階展示室「とやま・空間の旅」の「山地」のコーナーに，*Cryptomeria japonica* (L.f.) D. Don スギの大きな切り株が展示されている。そのスギ株は，富山県立山町下ノ小平（標高1,300m）の道路から林内へ数m入った所にあったが（図1，2），展示に用いるために2006年7月に伐採された。伐採前の2005年9月16日に，スギ株に着生する蘚苔類の調査を行ったので報告する。

スギ株は半日陰の林内にあり，高さが約2mで，その樹皮は下部ほど大変よく湿り，上部でも湿り気があった。なお，スギ株の年輪は593年分あり，今から130年程前に伐採されたと推定されている（富山市科学博物館 2007)。

スギの切り株に着生あるいは根元に生育する蘚苔類を持ち帰り同定した結果，蘚類6科6分類群，苔類5科9分類群が確認された（蘚苔類一覧参照)。苔類の分類群数が多かったが，スギ株が半日陰にあり，樹皮がよく湿っている環境が反映されたと考えられる。苔類のうち植物体の小さな分類群は以下のように，体の大きな蘚類あるいは苔類の群落に混ざっていた。*Kurzia makinoana* (Steph.) Grolle コスギバゴケは *Calypogeia neesiana* (C. Massal et Carestia) Müll. Frib. ssp. *subalpina* (Inoue) Inoue タカネツキヌキゴケや *Bazzania bidentula* (Steph.) W. E. Nicholson フタバムチゴケと混生し，*Cephalozia otaruensis* Steph. オタルヤバネゴケはタカネツキヌキゴケや *Riccardia chamedryfolia* (With.) Grolle ナミガタスジゴケと一部が混生，*Scapania ciliata* Sande Lac. ウニバヒシャクゴケは *Brotherella henonii* (Duby) M. Fleisch. カガミゴケと混生していた。

調査地の標高は1,300mの山地帯であるが，岩月 (2001) では亜高山あるいは亜高山帯から高山帯に生育するとされる *Pleurozium schreberi* (Brid.) Mitt. タチハイゴケ，*Bazzania trilobata* (L.) Gray エゾムチゴケ，フタバムチゴケ，タカネツキヌキゴケ，*Scapania ampliata* Steph. オオヒシャクゴケが確認された。亜高山帯は針葉樹林帯でもあり，立山では *Abies mariesii* Mast. オオシラビソや *Pinus parviflora* Sieb. et Zucc. var. *pentaphylla* (Mayr) Henry キタゴヨウが優占する標高約1,500m以上が亜高山帯と見なされる。調査地は，主に *Fagus crenata* Blume ブナとスギの混交林であるが，キタゴヨウが見られ始めている。今回

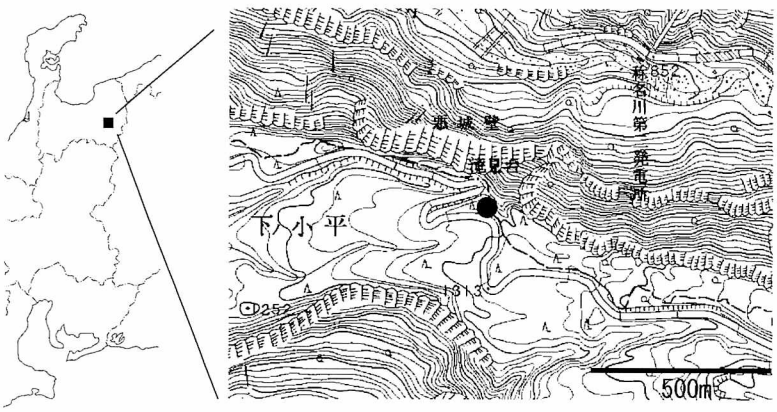


図1．スギの切り株があった場所（富山県立山町下ノ小平）
調査地は黒丸で示した。地図は国土地理院25,000分の1の「小見」「立山」を使用した。

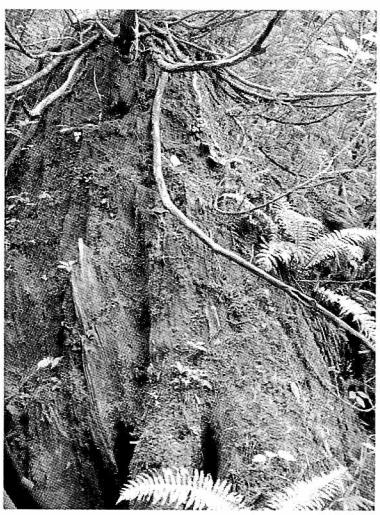


図2．スギの切り株（2005年9月16日撮影）

＊富山市科学博物館業績第388号

報告する蘚苔類は，針葉樹のスギの切り株が着生基物であったために，亜高山帯あるいは亜高山帯から高山帯に生育する分類群が生育していたと考えられる。

苔類については富山県産のチェックリストがあり（坂井・山田 2009），照合するとフタバムチゴケ，*Bazzania pompeana*（Sande Lac.）Mitt. ムチゴケ，エゾムチゴケ，ウニバヒシャクゴケ，ナミガタスジゴケの5種は富山県新産である。

蘚苔類一覧

科の配列は岩月（2001）に従い，属名，種小名はアルファベット順に配した。学名はIwatsuki（2004），Yamada & Iwatsuki（2006）に従った。学名，和名に続き，富山市科学博物館の標本登録番号を示した。混生種がある場合は括弧内に記した。採取者は著者だけなので省略した。富山県新産の苔類については学名の先頭に*を付けた。標本はすべて富山市科学博物館植物標本庫（TOYA）に保管されている。

Bryopsida　蘚類

Dicranaceae　シッポゴケ科

Dicranum japonicum Mitt. シッポゴケ　2821.

Mniaceae　チョウチンゴケ科

Rhizomnium tuomikoskii T. Kop. ケチョウチンゴケ 2828.

Thuidiaceae　シノブゴケ科

Bryonoguchia molkenboeri (Sande Lac.) Z. Iwats. & Inoue ホンシノブゴケ 2897.

Amblystegiaceae　ヤナギゴケ科

Pleurozium schreberi (Brid.) Mitt. タチハイゴケ 2830.

Sematophyllaceae　ナガハシゴケ科

Brotherella henonii (Duby) M. Fleisch. カガミゴケ 2460 (+*Scapania ciliate* ウニバヒシャクゴケ).

Hypnaceae　ハイゴケ科

Hypnum fujiyamae (Broth.) Paris フジハイゴケ 2921, 2925.

Hepatica　苔類

Lepidoziaceae　ムチゴケ科

**Bazzania bidentula* (Steph.) W. E. Nicholson フタバムチゴケ 2435.

**Bazzania pompeana* (Sande Lac.) Mitt. ムチゴケ 2441.

**Bazzania trilobata* (L.) Gray エゾムチゴケ 2442.

Kurzia makinoana (Steph.) Grolle コスギバゴケ 2435 (+*Bazzania bidentula* フタバムチゴケ，*Calypogeia neesiana* ssp. *subalpina* タカネツキヌキゴケ), 2436 (+*Calypogeia neesiana* ssp. *subalpina* タカネツキヌキゴケ).

Calypogeiaceae　ツキヌキゴケ科

Calypogeia neesiana (C. Massal et Carestia) Müll. Frib. ssp. *subalpina* (Inoue) Inoue タカネツキヌキゴケ 2434 (+*Cephalozia otaruensis* オタルヤバネゴケ), 2435 (+*Bazzania bidentula* フタバムチゴケ，*Kurzia makinoana* コスギバゴケ), 2436 (+*Kurzia makinoana* コスギバゴケ), 2444 (+*Cephalozia otaruensis* オタルヤバネゴケ).

Cephaloziaceae　ヤバネゴケ科

Cephalozia otaruensis Steph. オタルヤバネゴケ　2434 (+*Calypogeia neesiana* ssp. *subalpina* タカネツキヌキゴケ), 2444 (+*Calypogeia neesiana* ssp. *subalpina* タカネツキヌキゴケ), 2459.

Scapaniaceae　ヒシャクゴケ科

Scapania ampliata Steph. オオヒシャクゴケ 2440.

**Scapania ciliata Sande* Lac. ウニバヒシャクゴケ 2460 (+*Brotherella henonii* カガミゴケ).

Aneuraceae スジゴケ科

**Riccardia chamedryfolia* (With.) Grolle ナミガタスジゴケ 2461.

引用文献

岩月善之助（編），2001. 日本の野生植物 コケ. 355 pp., 192 pls. 平凡社，東京.

Iwatsuki, Z., 2004. New catalog of the mosses of Japan. J. Hattori Bot. Lab., (96): 1-182.

坂井奈緒子・山田耕作，2009. 富山県産のタイ類とツノゴケ類のチェックリスト. 三重コケの会ニュース，26 (2): 21-36.

富山市科学博物館，2007. とやま・サイエンスガイド. 113 pp. 富山市科学博物館，富山.

Yamada, K. and Iwatsuki, Z., 2006. Catalog of the hepatics of Japan. J. Hattori Bot. Lab., (99): 1-106.